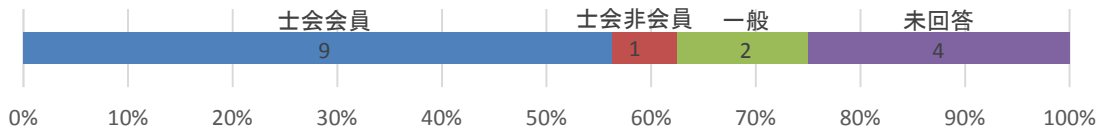


アンケート結果報告

名目： 「地域防災」について考えよう（講演・ワークショップ）IN 平塚
 日時： 2018年1月13日（土） 13：30～17：00
 場所： ひらつか市民活動センター（神奈川県平塚市八重咲町3-3 JAビルかながわ2階）
 参加人数： 31人 アンケート回答人数： 16人

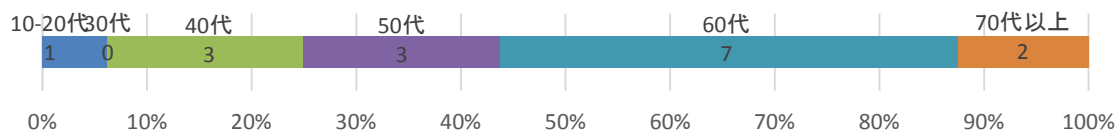
- 士会会員

士会会員 ・ 士会非会員 ・ 一般



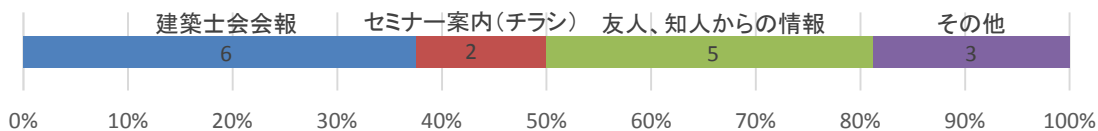
1 ご年代

A 10～20代 B 30代 C 40代 D 50代 E 60代 F 70代以上



2 セミナー開催を何でお知りになりましたか？

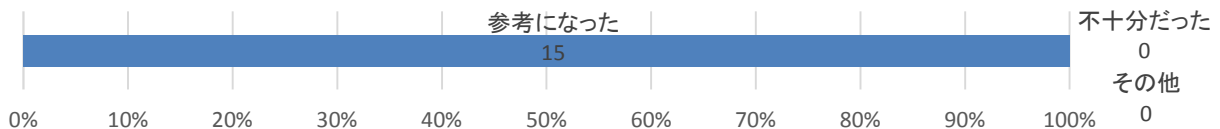
A 建築士会会報 B セミナー案内（チラシ） C 友人、知人からの情報 D その他（ ）



D その他 防災委員会 建築士会大和 共催中支部役員

3 セミナー内容について

A 参考になった B 不十分だった C その他（ ）

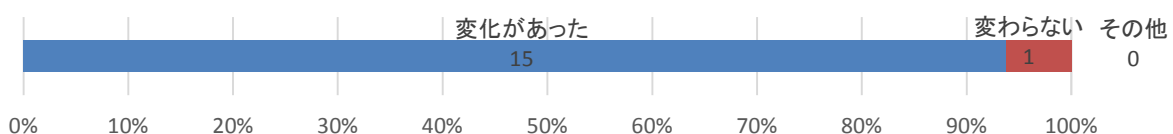


そのように感じられた点・理由をご記入下さい

- 避難所の運営、備蓄資機材等。女性の視点の重要性。
- 避難所の開設の状況が判り参考になりました。
- 地域のコミュニケーションの大切さを感じた。
- 報道では伝えられない、臭気、理不尽で身勝手な犯罪があることを知りました。
- 講演1：実際の災害を想定した訓練を模索して、向上させようとしている努力がよくわかった。
- 講演2：災害弱者への対応が重要と思われる。
- 近隣市の具体的な取り組みを知ることができました。現地に入られた形の率直な気持ちと共に、「気づき」を被災者への配慮としてどう行動に移すのか、と言う点がとても参考になりました。
- 防災に対する意識は日常持っているつもりで居る事を改めて必要性を感じた。
- 災害時の女性の視点は具体的な視点でよく理解できました。
- 発災時のその後の大きな流れが理解出来て良かったです。

4 東日本大震災後、防災に関する自助・共助・公助に対する考え方に変化はありましたか？

A 変化があった B 変わらない C その他（ ）



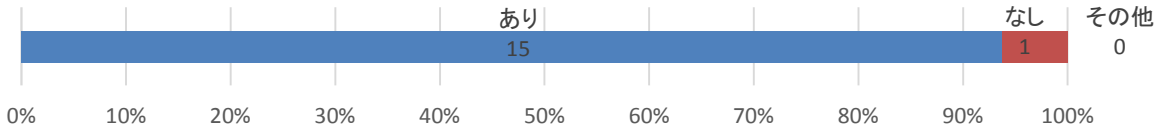
防災に対する備え（情報の取得先なども含め）がありましたらご記入下さい

- 自助（自分）→共助（周囲）→公助（地域）とそれぞれが、それぞれの役割を担って、非常時に対応するという心構えが必要であることを教示された。
- 自治会の防災活動に参加するようになった。
- 共助の意味を改めて「弱者に対しての思いやりを持った協力」を意識することが重要だと痛感しました。
- 自主防災の基本は、己人、家族、隣人、町内、地区であることを痛感しました。

- ・ 現地に入った者として、現在もつながりをわずかながら持っている者として、見て、聞いて、感じたこと近所の方たちとの会話の中に時々入れたりして、自他ともに災害を過去のものにしないようにしています
- ・ 三つのキーワードを今まで全く認識出来ていなかった為、身近な家族にも伝えたいと思う。
- ・ 私の居住する自治会の防災活動で防災訓練等で情報の取得があります。
- ・ 非常持出品の充実、整備に力を入れた。災害時要援護者支援組織について二歩三歩踏み出すようになった
- ・ 自助・共助の大切さが理解出来て、公助が期待出来ないで、とりあえず自助の方法を考えている。
発電機・トイレ・飲料水etc

5 東日本大震災6年10ヶ月、熊本地震1年9ヶ月経過しましたが、お仕事・日常生活で留意されていることはありますか？

- A あり B なし C その他（ ）

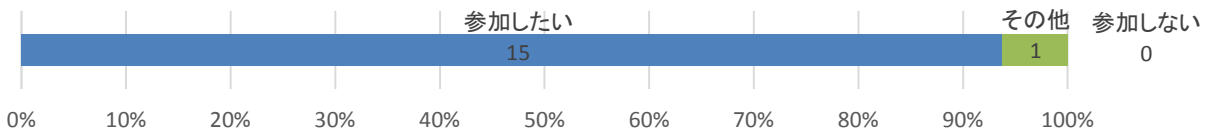


実際に留意された内容がありましたら、ご記入下さい

- ・ 家具の転倒に留意するようにしています。
- ・ 家庭での防災用品、食料品の備蓄。
- ・ 思いやり
- ・ 職場では1年に1回本社全体で避難訓練と応急処置の訓練をしている。
- ・ 東日本大震災の際に帰宅困難者になってしまった為、常用している薬を多めに持ち歩くようにしている。
- ・ キャンプグッズ、水、飲料購入
- ・ 日常品の備蓄
- ・ 避難場所の確認
- ・ 水、米、ガス（ガステーブル）の備え+ローリングストック。車のガソリン（半分を目安に）を早めに入れる。ペットシーツの備蓄（ポリマー入りなので人間の簡易トイレにも使える）。
- ・ ペットの飼い主への啓発（ペットも含めた自助、飼い主同士の連携、周囲への配慮）
- ・ 携帯電話の普及で通常は情報の発信や入手が容易な時代なので、特に家庭内ではいざ災害が発生した際にどれだけそれが困難になるか意識し、又、実際にそうなった際にどの様に情報を入手すれば良いのかを考えたりしています。
- ・ 家屋の地震材等に取組んでいます。
- ・ 宮城県南三陸町の実家が津波で流されて、全壊してしまった。感じるものが有る。
- ・ 木造住宅の耐震診断・補強設計を行う件数が増加（利益なし）。防災情報を集めて準備する。

6 今後、このような講習会がありましたら、ご参加頂けますか？

- A 参加したい B 参加しない C その他（ ）

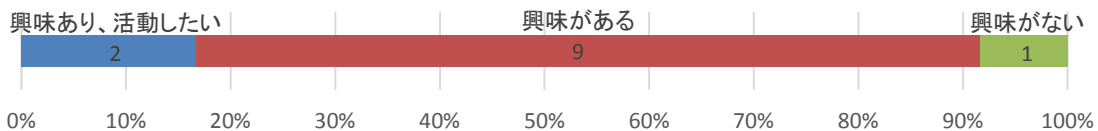


C その他 内容による

- ・ 具体的に、希望する防災に関する講習会内容 自治会の防災活動

7 女性委員会 防災委員会では、一緒に活動して頂く委員を募集しています。活動内容についてお聞きします。

- A 興味あり、活動したい B 興味がある C 興味がない



8 その他 ご意見等をお願いいたします

- ・ 防災訓練として、自宅から避難所までの経路の確認として、高齢者や子供が通ることを想定した問題点の把握も大切だと思います。学生時代の課題として行ったことがあり、とても大切なことに感じました。折り紙建築は一度やってみたくて思っていたので、今回体験できて良かったです。
- ・ 大変充実したセミナーだったと思います。3部とも視点が異なり、興味を持ってました。
- ・ 避難所へ行かないようしっかりとした対策をとることに費用は惜しまないようにしようと思った。
- ・ 委員活動については諸般の事情により活動は難しいです。ペットのことはまだまだ課題にすらならないのだなということを改めて実感しました。折り紙建築とてもよかったです。
- ・ 貴重なお話ありがとうございます。
- ・ 自治会の防災活動に生かしていきたい。

以上